



- 永代共養墓について
- ぶつぶつ雑記ブログ
- 真言宗について
- 金剛院イベント情報
- 金剛院 建築計画
- しいなまち・みとら
- 唱えてみよう!
- 仏教一年生
- 金剛院News
- メールを送る
- こんごういんキッズ!
- たいけんしてみよう!
- まんが小坊主くん!
- 金剛院について
- おすすめリンク集
- メディアで紹介
- 東京お寺めぐり
- ぶつゆめクイズ
- 金剛院の四季
- バックナンバー
- ほほほのれしび
- ふしぎな密教法具
- 地区・アクセス
- サイトマップ

 検索

エッセイ 仏教一年生

- 第37回 [「智の器」としてのお寺の面白さ](#)
- 第36回 [日食メガネと雨男](#)
- 第35回 [東日本大震災一周年に想うこと](#)
- 第34回 [インドマジックで被災地に笑顔を「2」](#)
- 第33回 [インドマジックで被災地に笑顔を「1」](#)
- 第31回 [井戸の話](#)
- 第30回 [五筆和尚伝説](#)
- 第29回 [縁の下をささえる人々](#)
- 第28回 [日本人、最高!](#)
- 第27回 [人間と占い](#)
- 第26回 [空海さんの謎](#)
- 第25回 [私の知らない私](#)
- 第24回 [記憶と感情](#)
- 第23回 [美人病にかかる\(後編\)](#)
- 第22回 [美人病にかかる\(前編\)](#)
- 第21回 [四億年の引きこもり](#)
- 第20回 [年齢を隠したがる人たち](#)
- 第19回 [若い時の苦労は買ってもしろう](#)
- 第18回 [子離れの季節](#)
- 第17回 [35年目の同窓会](#)
- 第16回 [不老不死のお酒](#)
- 第15回 [アンチエイジング](#)
- 第14回 [女子力不足](#)
- 第13回 [仏のレッスン](#)
- 第12回 [母と子をつなぐ道](#)
- 第11回 [座敷わらし](#)
- 第10回 [夢のお告げ](#)
- 第9回 [犬に引かれて](#)
- 第8回 [生まれ変わり](#)
- 第7回 [お葬式の意味](#)
- 第6回 [不思議なご縁](#)
- 第5回 [生きるための勇氣](#)
- 第4回 [祖母の形見](#)

仏教一年生

山田真美・著



作家、日印芸術研究所言語センター長の山田真美さんの連載です。

[プロフィール紹介](#)

第23回 美人病にかかる(後編)

BI 0 チェック いいね! 0 Tweet

前回のエッセイがアップされたあと、私のもとにはたくさんの同志(?)からのメールが寄せられました、いわく、

「山田さんがかかっていらっしゃる美人病に、私もかかったことがあります！」

「私も、今まさにその美人病にかかっているところです！」

「何を隠そう、私のワイフも美人病です！」

……などなど、「私も」「私も」「私も」の嵐!

病気のことを書いているはずなのに、気のせいかな皆さん胸を張って「美人病です！」と宣言しているところが面白い。そして、誰ひとりとして「顎関節症(がくかんせつしょう)」という正式な病名を使わないところが、また興味深い。

「人気のある病名」という言い方はヘンかも知れませんが、これほど「本人が得意げに吹聴したがる病名」は、他にあまりないのではないのでしょうか。

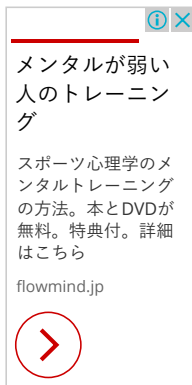
誤解を招くといけなないのでハッキリ書いておきますが、美人病にかかったからと言って患者が全員美人というわけではありませんし、事実、私も決して美人ではありません(期待しないでください)。

しかも、美人病は歴とした「病」なのですから、決して得意がるべきことではないでしょう。ですが、そうは言っても、こういう病名は聞いているだけで楽しい。いっそ、世の中のすべての病気に「聞いているだけで思わず微笑みたくなるような楽しい愛称」をつけたら、それだけで患者もまわりの人も医療関係者もだいが気が晴れるんじゃないかと、そんなふうに思うのですが、いかがでしょう。

さて、それはさておき、困ったのは左顎(あご)の激痛です。真夜中にマウスピースをはずしながら、私は考えました。

このままマウスピースを使いつづければ、むしろストレスがたまってしまう。かと言って、放置したら顎の痛みは増すばかり。かくなる上は、なぜ美人病にかかったのか、その原因を徹底的に追及するしかない。

- [第3回 ありがとうの輪](#)
- [第2回 お釈迦さまのお顔](#)
- [第1回 算数と仏教](#)
- [仏教一年生 山田真美・著](#)



美人病の原因として、お医者さんは「笑い方、歌い方、頬杖、寝違え、心身のストレス」などを挙げていらっしゃいましたが、個人的には、どれも思い当たる節がありません。しかし、すべての問題には原因があり、原因がわかれば必ず解決策も得られるというのが私の信条です。今回の顎の痛みにも、きっと何らかの原因と解決策があるはず。そう思ってよくよく記憶をたどってみると、顎が痛くなるちょうど1か月前のある日、右側の腰がいきなり痛くなったことを思い出しました。あのときも、痛み の原因は不明。忙しかつたので病院にもいかず、我慢しながら日常生活をつづけていたところ、1~2週間で痛みは解消してしまったのですが。

さらに記憶をたどれば、右の腰が痛くなる数か月前には、右足の指にこれまた激痛が走ったこともありました。このときは「買ったばかりのハイヒールが足に合わなかったのかな」と思い、かかとの低い靴を履くようにしたところ、いつの間にか痛みが治まりました。

つまり、昨年の初夏から年末にかけて、原因不明の激痛が私の「右足の指」→「右の腰」→「左顎」を順ぐりに駆けめぐったこととなります。

ちょうど美容院で髪を切っているときにそのことに思いだしたので、気心の知れた美容師さんに話したところ、

「そういうことなら、一度整体に行ってみたらいかがですか。人間のからだって、何十年も生きているあいだにあちこちに歪(ゆが)みが生じているものらしいですよ。歪みを治してもらうだけで、色々な慢性病が治ることがあるみたい。私も、それでだいぶ助けられていますから」

と力説され、彼女が長年通っているという整体の先生の連絡先を教えてくださいました。このときは、なにしろ顎が痛くて仕方ありませんでしたので、私はもう藁にもすがる思いで予約を取り、すぐに整体治療院を訪ねてみたのでした。

先生は、「では全身の状態を診させていただきます」とおっしゃり、頭のとっぺんから足の爪先までを手早くチェックなさいました。そのうえで、おもむろにおっしゃったことには、

「山田さん、あなた、1年ほど前に右足のくるぶしを捻挫(ねんざ)なさったことがあるでしょう」

私は一瞬、目が点になりました。1年前？ 右足のくるぶし？

はて何のことかしらと首をかしげながら記憶をたどるうち、そう言えば確かに今からちょうど1年ほど前、右足のくるぶしを捻挫したことを思い出しました。

あのときは、犬の散歩に出かけようと靴を履いている最中に、いきなり犬にリードを引っ張られてバランスを崩し、右足のくるぶしを嫌というほど捻(ひね)ったのです。

それはひどい痛みだったのですが、なにしろ犬は散歩に出かけたたくて鼻息を荒くしているし、しばらくその場に蹲(うずくま)っているうちに痛みが治まったので、私はそのまま散歩に出かけました。しかし、そのあとは痛みがぶり返すことも、足首が腫れることもなかったのです。

そのことを申し上げると、先生は首を横に振りながら、

「いや、とんでもない。これはだいぶ大きな捻挫の痕(あと)ですよ。本来ならば、ただちに処置をして何日か 歩行禁止にすべきところでした。右足の指、右の腰、左顎の痛み、すべてはそのときの後遺症です。右下半身に受けたダメージの結果は、左上半身にあらわれやすいのです。それにしても、いま来院してくださってよかった。これ以上処置が遅くなったら、手の施しようがないほどこじれてしまうところでした」

そう言いながら、右足のくるぶしを軽くいじり、そのうえにテーピングをしてくださいました。すると、その直後から嘘のように顎の痛みが消え、食事時も起床時もまったく平気になったではありませんか。

数日後におそろおそろテープを取りはずしたあとも、顎が痛むことはなく、あれからかれこれ2か月以上が経ちますが、私はすこぶる元気です。

さて、今回の出来事から私は主にふたつのことを学びました。

ひとつ目は、「何か問題が発生したら、問題が大きくなる前に、すぐに最適な処置をしなければいけない」ということ。

ふたつ目は、「原因と結果は必ずしも隣り合わせにあるとは限らない」ということです。「顎が痛くなったのは顎の使いすぎが原因に違いない」と近視眼的に思いこんでいたら、足首の捻挫と顎の痛みを結びつけることなど到底できず、私は今も美人病に苦しんでいたことでしょう。

右足首を痛めたことが、1年後に左顎の痛みとなってあらわれたように、たとえば地球の裏側で起こった出来事は、めぐりめぐって、何千キロも離れた日本に住んでいる私たちの生活に大きな影響をおよぼしているかも知れません。

「遠く離れたふたつのものに関係があるはずはない」と断ってしまう前に、あらゆるものが繋がっている可能性を考えることがとても大切だということを、あらためて考えさせられた一件でした。

≪ 第22回 美人病にかかる(前編) 第24回 記憶と感情 ≫

山田 真美 (やまだ・まみ) プロフィール紹介

作家、日印芸術研究所言語センター長。密教学修士(高野山大学)。現在、お茶の水女子大学大学院博士課程後期在学中。1960年長野市生まれ。明治学院大学卒業後、ニュー・サウス・ウェールズ大学(豪)でマッコウクジラの回遊を研究。その後インド政府の招聘でヒンドゥー神話を調査研究。1996年より6年間ニューデリー在住。

主な著書にダライ・ラマ法王へのインタビューも収録した『死との対話』、ベストセラーとなった『ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦』など。

訳書に第二次世界大戦の秘史を扱った『生きて虜囚の辱めを受けず』。

長年にわたりインドを日本に紹介してきた功績を認められ2007年、インド国立文学アカデミーより世界で3人目となるドクター・アーナンダ・クマラスワミ・フェローシップを受ける。

財団法人日印協会理事。日本文化デザインフォーラム、日本蜘蛛学会、宇宙作家クラブ会員。国立天文台広報普及委員会委員。



山田真美 公式ホームページ: <http://www.yamadamami.com/>

メンタルが弱い人のトレーニング

スポーツ心理学のメンタルトレーニングの方法。本とDVDが無料。特典付。詳細はこちら flowmind.jp/メンタル/トレーニングへ進む





© 2002-2016
真言宗豊山派 金剛院

- | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|----------------------------|--|----------------------------|--|---------------------------|--|--------------------------|
| 永代供養墓 密厳霊塔 | | ぶつぶつ雑記ブログ | | 真言宗について | | 金剛院イベント情報 | | メールを送る |
| しいなまち みとら | | 唱えてみよう! | | 仏教いちねんせい | | 金剛院NewS | | おすすめリンク集 |
| こんごういんキッズ | | たいけんしてみよう! | | まんが 小坊主くん! | | 金剛院について | | バックナンバー |
| メディアで紹介 | | 東京お寺めぐり | | ぶつ仏クイズ | | 金剛院の四季 | | サイトマップ |
| | | ばばばのレシピ | | ふしぎな密教法具 | | 地図・アクセス | | |

胸やけ、逆流性食道炎に

沖縄野菜がすごい。無農薬で育てた 無添加サプリで、気分スッキリ
shizen-no-megumi.comへ進む

